

1 教育目標

豊かで、たくましい心身を持ち、「自ら学び、自ら行動する」子供の育成をめざす。
すなおな子 すこやかな子 すすんで学ぶ子

2 学校経営方針

長崎県および長崎市の教育方針にのっとり、児童や地域の実態を踏まえ、長崎市第四次総合計画および学校教育目標の具現化に向け具体的な教育活動を推進する中で、仁田佐古小学校が児童・保護者・地域に認められた愛着のある学校になるよう、全職員の総力をあげて取り組む。そのために、

- 児童の命と心を預かる学校の職員としての責任の重大さを認識する。
- 職員一人一人が、学校経営の一翼を担っていることを自覚する。
- 具体的な実践を通して、本校教育目標の具現化を図る。

ことを、共通した思いとして受け止める。
また、「必要なことを効率よく」という視点から業務内容や働き方の改善を図るとともに、「チーム仁田佐古 心はひとつ」を合言葉に、職員同士、職員と保護者・地域が強力なチームとなることによって、教育活動の質的向上と教職員の働き方改革につなげていく。

3 重点目標

- 重点努力目標
- 1 静かで落ち着いた環境づくり
はさみ歩きと無言掃除、読書指導の充実
 - 2 学力向上対策(校内研修の充実)
ユニバーサルデザインを取り入れた授業改善とチャレンジテストの活用
 - 3 働き方改革の推進
校務支援システムの活用と、行事や日課の見直しや精選、定時退庁日の徹底

4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート集計			分析及び改善策
			肯定的割合(%)			
			児童	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	89	96	100	・基本的な生活習慣の確立に向けた指導について、肯定的な評価が児童・保護者・職員の全てで9割を超えていた。特に、児童の自己評価は前年度と比べ高まっており、指導の定着と意識の高まりがみられる。 ・業務の改善については、職員の考えを聞きながら、積極的に進め、できることから改善を図っている。
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	96	97	100	
	重点目標	基本的な生活習慣が身につく指導をしている	93	96	100	
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している			100	
	業務改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している			94	
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	92	92	100	・朝の挨拶は活発に行われているが、それ以外の場面(個人でいるときや地域の中で)での挨拶は個人差が大きい。 ・児童への対応は保護者の協力があつた。また、生活アンケートを毎月実施し、面談を行うことで、職員間で共通理解ができ、早期対応ができた。
		挨拶をよくしている	93	91	94	
		「あ・は・は運動」を知っている(小学校のみ)	96	86	100	
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	97	91	100	
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	97	90	100	
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	99	98	100	
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	96	98	93	
特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている		97	100		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風の実態に即した教育を行っている	87	91	86	・授業については今後も肯定的な割合9割を目指し、より一層の学力向上のため校内研修等の充実を図り、教職員一人一人の授業力の向上を図る。 ・家庭学習の望ましい取り組みせ方について、児童・保護者・教職員が共通理解できるようにしていく。 ・キャリア教育については、指導する内容が保護者に伝わりにくい。小学校段階の進路指導について保護者に知らせることが必要である。
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	99	90	100	
		家庭学習の習慣が身に付いている	94	82	100	
進路指導	将来の進路や職業について適切に指導している	91	79	100		

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	93	95	100	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣について、生活リズム点検を年4回実施し、児童・保護者に対する啓発を行っている。回を重ねることにより傾向が見られるがまだ十分でないため、今後も継続していく。 ・体育委員会を中心に、体力向上イベントを実施した。熱中症など、安全に配慮し、外遊びを呼びかける。 ・学校保健委員会で、食育をテーマに取り組んだ。児童の食に対する関心の高まりを感じる。
	体力向上	基本的な生活習慣が身に付いている	91	86	100	
		体力向上に努めている	87	91	100	
	食育	食に関する教育活動を行っている	92	94	94	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	97	93	100	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が安心・安全に生活できるよう職員で共通理解しながら実践する。新校舎でも、児童が落ち着いて生活できるように準備を進める。 ・学校HPや通信を通じて学校の教育活動を発信している。今後も継続していく。 ・地域の行事「七夕祭り」「バザー」「綱引き大会」など具体的な行事名を紹介しながら参加を促している。今後もその楽しさを知り、参加する児童が増えるように声掛けする。また、学校がPTAと地域とが連携できるような活動を行っている。
	情報提供	学校の状況は、通信やHP等で知ることができる	93	96	94	
	PTA・地区との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている	75	92	93	
	職員の資質向上	研修が充実し、資質が向上している			100	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	89	87	100	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検を中心に、施設の状況を確認し、不具合があれば、庁務員を中心に対応できた。 ・新校舎での学校生活に向けて、教材や備品の点検・管理を確実にし、計画的に購入できた。 ・安全衛生推進委員会において話し合われたことは、改善できる部分から確実に取り組むことができた。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			100	

5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

- ・ほとんどの項目で、肯定的な意見が9割を超えていた。特に、学校の雰囲気項目では、児童・保護者・教職員の3者ともに、9割5分を超える結果となり、学校生活を満足に送ることができていることが伺える。
- ・来年度からの新学習指導要領の完全実施を踏まえ、教育課程と業務の見直しを行ってきた。職員の意見を聞き反映させることで、改善を実感している。
- ・基本的な生活習慣の定着のために、「生活リズム点検」を年4回実施してきた。各学級や学年で課題を児童に示し、通信等で保護者にも知らせることで、児童・保護者の意識が高まってきている。
- ・校舎の移転(運動場)や体育的行事の削減で、体力向上への保護者の意識が高まってきている。体育委員会を中心に、自主的な体育的な遊びを行ってきたので、今後も継続し、保護者への理解を努めていく。

6 学校関係者評価

- ・今年度の学校経営について、一定の成果が得られていると評価する。
- ・学校と地域や保護者との連携に、学校の窓口を管理職だけでなく、校務分掌で位置づけられた生涯学習担当などの職員を加えることで、さらに結びつきが強固になるのではないかと。
- ・子供たちが進んで地域の行事に参加している。子供たちに、地域の行事に参加する良さについてさらにアピールしていく必要がある。
- ・ネットワークで配布しているベストの効果が、ベストを着ていると、よく挨拶をしてくれる。
- ・子供たちの遊び場としての公園が遊びにくくなっている。地域としても、見守り、遊ぶ環境を整えたい。

7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- ・学校と保護者、地域との関係はこれまでに行ってきた行事などの効果が出てきている。今後も、連携のための担当者を中心にさらに結びつきが強くなるよう、共同で行う取組を明らかにし、計画・準備・実施までの流れを共有できるようにしていく。
- ・日々更新している学校ホームページなどで、学校からの情報発信をさらに充実させる。